

## 学長と学生との意見交換会

【日 時】 平成25年7月10日（水）16:30～17:45

【場 所】 学生プラザ1Fフリースペース 及び 霞キャンパス歯学部小会議室（TV会議システム中継）

【出席者】 学生約40名、浅原学長、坂越理事・副学長（教育担当）、上理事・副学長（平和・国際担当）、江坂副学長（学生支援担当）、飛田副理事（教育支援担当）

| 学生からの意見 |            |                                                                                                                                                             | 大学の対応                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当グループ            |
|---------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1       | 千夜祭について    | 廃止されて9年が経つ「千夜祭」について、来年度以降の復活を試みたが、東千田キャンパスの竣工が完了するまで(H28.4)は開催できないと断られた。パンフレット等にも「千夜祭」の記載があるが、どうにかならないか。                                                    | 学生からの提案内容及び東千田キャンパスの状況等を踏まえ、開催時期、規模、場所等、どの様にすれば「千夜祭」が開催できるか、学生と一緒に考えて適切に対応していきます。                                                                                                                                                                                | 東千田地区<br>学生支援G    |
| 2       | 授業のあり方について | 授業に活気がない。理念5原則がどのように実現されようとしているのか？学生が自ら学ぶ姿勢も大事だが、それを支えるのは教員では？また、日本人は和を大切にあまり、衝突を避ける印象がある。競争環境や議論の場を生み出したり、批判の精神を養う必要がある。また、高い教養に基づいた判断力と実行力、英語以外の言語の習得も必要。 | 学生の多様化に対応した教育内容の充実・教育方法の改善等の取組みに活かしたいと考えています。また、アクティブラーニングなど教員の指導法研修も進めています。                                                                                                                                                                                     | 教育推進G<br>教養教育本部   |
| 3       | 規範やマナーについて | 学生は教員の姿をよく見ている。遅刻を認めないなど、教員はもっと規範に厳しくあるべき。また、挨拶をしない学生が多い。                                                                                                   | 規範やマナーについて6月に各学部及び課外活動団体の学生と「規範意識の向上に向けての意見交換会」を実施しました。2回目は11月頃に実施予定となっています。また、9月には、教職員対象に「学生の規範意識向上のために学生支援教職員に求められること」と題してFD研修会を実施します。                                                                                                                         | 学生生活支援G           |
| 4       | 原爆記念式典について | 広島＝平和、原爆である。学生ももっと原爆死没者のことを知るべきであり、広報に努めてもらいたい。                                                                                                             | 本学においても、広島に投下された原子爆弾により被ばくし、その後亡くなられた学生、留学生、生徒、児童及び教職員の方々の霊を慰めるため、東千田キャンパスにおいて毎年追悼式を行っています。このことについては、ホームページ及び「もみじ」などを通して積極的に広報に努めています。                                                                                                                           | 学生生活支援G<br>教育支援G  |
| 5       | 留学について     | 留年をせずに1年間留学するチャンスはないのか。                                                                                                                                     | HUSAプログラムでは派遣学生の単位互換を推奨しているが、履修科目の読み替え認定は学生の所属学部等が決定するため、一様には行かないのが現状です。特に、理系の学部では、留学中に取得した専門科目に読み替えることは困難なようです。また、留学中に専門科目を聴講するためには、高レベルの語学力が求められますが、本学の理系の派遣学生の語学力が、全体的にそのレベルに達していない傾向があります。<br>解決の一案としては、各部局が部局間協定等により、履修科目・読み替え科目を定めた留学プログラムを企画すること等が求められます。 | 国際交流G<br>教育推進G    |
| 6       | 授業のあり方について | 授業において討論のテーマを教員が選定する予定だったが、学生が「自分たちでテーマを選びたい」と提案したところ、受け入れてもらえた。授業の進め方や内容を簡単に変えて良いのか？                                                                       | 担当教員は、討論のテーマが何であるかよりも、「深く考えること」がこの授業の目的であるとの認識から、皆さんからの提案に合わせて柔軟に対応したもので、特に問題はないと考えます。                                                                                                                                                                           | 教育推進G<br>教養教育本部   |
| 7       | 奨学金について    | 博士課程後期に進学したいが、私費留学生は財政面が非常に苦しい。文系学生にももっと奨学金をお願いしたい。                                                                                                         | 大学院生のエクセレント・スチューデント・スカラシップは、本年度より成績優秀学生選考時期を6月から12月に変更、50人に1人から30人に1人の割合に枠を増設するなど表彰学生の枠を大幅に増やしています。                                                                                                                                                              | 学生生活支援G<br>(経済支援) |

| 学生からの意見 |                |                                                                                              | 本学の対応                                                                                                                                                                                                                                | 担当グループ           |
|---------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 8       | 学生宿舎について       | インターネットの整備、エンターテインメントの提供をお願いしたい。                                                             | インターネットは加入手続きをすれば使用可能な状態に整備してあります。池の上学生宿舎では、今年度から「ソフトバレーボール大会」や「流しそうめん」等のイベントを企画し、入居者間(留学生含む)の交流を活発化させています。                                                                                                                          | 学生生活支援G<br>教育支援G |
| 9       | オリキャンについて      | オリキャンにバス旅行を取り入れ、留学生と一緒に企画運営したい。                                                              | オリキャンの主目的である、学生間の交流を図ること、学生と教員との相互理解を深めること、さらに留学生を交えた異文化交流を図ることができるのであれば、学生の自主的な提案を止めるものではありません。各学部の企画等を行っている部署と相談してください。                                                                                                            | 学生生活支援G<br>教育支援G |
| 10      | 編入生について        | ピア・サポートルームでの活動を通し、編入生への支援が部局により異なることが分かった。編入生を対象としたオリエンテーションなどの制度も無く、しっかりした支援をお願いしたい。        | 7月23日開催の学士課程会議において、この意見を報告し、各学部の体制・対応状況等を調査・取り纏めて改善を図る予定です。                                                                                                                                                                          | 教育推進G            |
| 11      | 学生生活に関する相談について | 大学生活や初めての一人暮らしで不安なことやトラブルがあった際に、学生プラザがサポートを求めて来られるような存在になったら良いと思う。                           | 学生生活の手引きにも記載されているとおり「何でも相談窓口(何でも相談員)」を配置しています。学内外を問わず学生生活を送る上で様々な問題にぶつかったとき、何でも相談員が解決の糸口や相談先をお答えしますので是非利用してください。また、保健管理センターにおいても、サポートを行っていますので相談してください。                                                                              | 学生生活支援G          |
| 12      | 食堂について         | 生協食堂で満腹になるには、一食につき600～700円かかる。学外で500円で食べられるところもあるが、民間が経営するレストランを導入する予定はあるか？また、生協の混雑を解消してほしい。 | 生協食堂の混雑の緩和策として、6月20日から総合科学部講義棟一階で昼休み限定の弁当販売を行い、徐々に緩和策の効果が出てきています。                                                                                                                                                                    | 学生生活支援G          |
| 13      | 就職支援について       | 本学学生が大阪や東京に赴くバスツアーの代わりに、OB・OGに本学に来てもらってはどうか。その為のキャリアセンターの予算を増やしてほしい。                         | 今年度初めて、東京・大阪・広島企業の企業に勤務されている卒業生計20名程度を11月30日に広島大学に来ていただき、学内での卒業生によるキャリアセミナー(OB・OG懇談会)を開催することにしています。                                                                                                                                  | キャリア支援G          |
| 14      | 研究者情報について      | 研究者の情報が分かりにくい。誰が、どこで、どういう研究を行っているかをまとめたものがあれば良い。特に共同研究など、教員が自ら発してくれなければ分からない情報もある。           | 研究者の情報は「研究者総覧」により学内外に公開しています。今後、『研究大学』として、研究者情報を含めた本学の研究活動状況を分かりやすく、外から見える情報発信ができるよう、速やかにシステムを整備するとともに、積極的な広報活動に努めていきます。併せて、研究データベース「ひまわり」や「広島大学研究成果集」の掲載情報も充実させていきます。<br>なお、共同研究などは、企業等との間で公開できない秘密情報等もあることから、適正な情報管理が求められるものがあります。 | 学術室              |